



〔地域で生産される農産物の地域での流通、消費に向けて〕

新鮮な農産物で農業生産者と消費者を繋ぐ 地産地消推進登録店

地産地消による農産物の消費拡大

久留米地域で生産されたものを、その地域で消費する「地産地消」の取組みは、地域農産物の消費を促すだけでなく「生産者」と「消費者」を結びつけ、「顔が見え、話ができる関係づくり」につながるものです。

久留米市では、平成21年10月より「地産地消推進店登録制度」をスタートさせ、小売店や飲食店など248店舗（平成23年3月末現在）を登録しています。

「地産地消推進店」では、久留米産の新鮮な農産物、畜産物、林産物、水産物、これらを使った加工品を一番良い状態で市民を始めとする消費者に届けています。「地産地消推進店」は、「食べてにっこり」のお米のマークが入った、のぼり、ポスター、ステッカーが目印です。



地産地消登録店ポスター